

テーマ：自分とちがう意見も

教材名「日曜日の公園で」

授業のねらい

何をして遊ぶかでけんかになってしまった「たくや」と「ぼく」の姿を通して、自分と違う意見も大切にするためにはどのようなことを心がけるとよいかについて考えさせ、自分の意見を相手に伝えたり、相手の意見に耳を傾けたりしようとする心情を育てます。

① はじめに…

教師「友達と意見がちがって、けんかになってしまったことはありますか。」

児童「遊びたい遊びがちがってけんかしてしまったことがあります。」

授業のテーマを意識することができるように自分の経験を振り返り、どのような経緯で意見が違ってしまったかを事前アンケートをもとに話し合います。



② 教材を通して…

教師「たくやと『ぼく』は、それぞれどのようなことが足りなかったから、けんかになってしまったのでしょうか。」

児童「相手の理由を聞いたり、考えたりしていない。」

「たくや」と「ぼく」の意見にはそれぞれ理由はあるが、お互いの意見を聞いていないことについて考え話し合います。

③ 自分自身について…

教師「自分とちがう意見を大切にするためには、どんなことを心がければよいと思いますか。」

児童「自分の考えが分かるように、やさしくつたえる。」

人の意見にはそれぞれ理由があり、相手に対してどんな態度で接することが大切かを考えます。

④ おわりに…

教師「私の小学生の頃の話をしてします。」

自分の考えだけでなく相手の意見とその理由を受け止めることの大切さが伝わるように、教師の体験談を話します。